

【ヒットルアー】

<第3ポンド>

・ちびパニクラDR-SSタッキーブラウン 1尾

<第1ポンド>

・モカSR(SS) 黄オレンジ 2尾

・さかさによろ35FS ミドピーノ 1尾

・イーグルプレーヤー40slimGJオレダクション 1尾

・グリム51HF MJ サンクオリカラ 1尾

【ツレのヒットルアー】

さかさによろ35FS ミドピーノ モカSR(SS) 黄オレンジ

【様子】

○料金 半日午後 男性 ¥4,500 女性 ¥4,000 / ○終了 第3ポンド 16:30 第1ポンド 17:00

○放流なし、餌撒きなし。 / ○晴れ。風あり。 / ○第3ポンド 水はクリア 第1ポンド 水は濁っている。

【状況】

○第3ポンドに入った。釣れない。反応がない。

○茶系に反応があることが分かった。ちびパニクラSRタッキーブラウンでヒット。1尾取ったが続かない。

○マスに反応がないので、第1ポンドに戻ることにした。

○表層にマスの姿がない。モカSR(SS)を沈めることにした。カウント15からスタート。

○モカSR(SS) 黄オレンジ カウント15でヒット。しかし、続かない。

○表層でマスが動いているのが見えた。マジックジャークを試した。1尾取った。反応が良かったので、グリム51HF MJ サンクオリカラを試した。1尾取った。その後、続かなかった。

○トップで釣っている人がいる。ときどき、釣れている。ツレは1尾取ったが、自分はダメだった。

----- 覚え -----

【マジックジャーク】

○表層でマスの動きが活発なら、浮きの速いもの

イーグルプレーヤー50slim、グリム51HF

○表層にマスの動きがなく、深いところを探るなら、浮きの遅いもの

イーグルプレーヤー40slim、スティル

○40slimの場合

カウント5を2～3回行って、マスにアピールする。その後、カウント10で食わせる。カウント10を2～3回やっても当たらなければ、カウント5からやり直す。カウント8も織り交ぜる。

○50slimの場合

活性が高くないと釣れないことから、あまり使っていない。

※アイの調整を

【表層でマスが動いている、動き始めた。】

○ライズがあるならトップのルアーを試す。

○トップで釣れなければマジックジャークを試す。

【表層にマスがいない】

○モカSR(SS)ミドピーノ カウント10から始める。カウント10、13、16…

○第2ポンドではツレからの情報をもとにカウント15で釣れた。第1ポンドはカウント10で釣れた。

【モカSR(SS)系以外のクランクベイトの使い方】

ペピーノ、さかさによろ、グラスホッパー、などなど モカDR(F)も含む。

○第1投目がチャンスであることから、まずは、なり巻きを行う。

※ラインとロッドは一直線で、ロッドをやや左右に振る。(上下でも良い。)

「テエロで一周」の巻きスピード ステディリトリーブ 着水後すぐの巻き始め

棚は意識しない。意識するとすれば、巻き数を数え、何巻き目で当たったかを覚えておく。

これを次への足がかりとする。

○2投目以降は、棚、巻きスピード、ロッドポジションをいろいろ変えて試してみる。

ツレが巻きスピードを遅くしたら連続ヒットとなった。

【超スローでの巻きスピードについて】

○「ゆっくりゆっくりで1周」で釣れなかったので、「ゆっくりで1周」を試した。これで連続ヒット。

○以上のことから、巻きスピードは「ゆっくりで1周」、「ゆっくりゆっくりで1周」(普通)、「ゆっくりゆっくりで1周」(遅め)の3種類を使い分けよう。

○滑らかに巻くこと、常に同じスピードで巻くことを意識する。

【基本的なこと】

○釣れたルアーをヒントに、ルアーの大きさ・シルエット、色、棚を変えて、更に釣れるパターンを探る。

→ 釣れたルアーで色を変える場合、1投で当たらなければ変える。

→ 同じ棚を違うルアーでする場合、ルアーにより沈む速さや潜る深度が異なるため、2～3投試みる。

→ 持っているルアーをたくさん活用する。1投、2投でルアーチェンジを行う。

○時間をおいて、釣れたルアーで同じ釣り方を試す。マジックジャークもボトムの釣りも同様。

○釣れないのなら、同じことを繰り返さない。

○ルアーチェンジの前に、ロッドポジションを変えてやってみる。

○鉤掛かりしなかったり、ばれたりということが2回あったら、鉤をチェックする。

○14:30～15:30 休憩時間を入れる。

【モカSR(SS)カウント10と同じ棚を釣る場合】

・プチモカSR(SS) カウント20

・ファットモカJr. カウント15 1.5倍 (再確認が必要)

【DRを深く潜らせる】

・DRを深く潜らせる場合、まずは5回巻くところから始める。

・DR-SSの場合

ヒットレンジまで沈めてからゆっくり巻く : ヒットレンジを長く引くことができる。

ヒットレンジまで潜らせてからゆっくり巻く : マスに注目させてから引くことができる。

【誘い】

・上にあおる。レンジが上がる。沈むルアーなら、レンジを戻すことに使う。

・横に振る。同じレンジか、少し潜るか。

・下に引く。レンジが下がる。

・カウント5だけ止める。止めること、沈ませることを誘いとする。

【次回に向けて】

○ヒットからネットインまでのアプローチの検討

○超スローの巻き方は3つのスピードを試す。

「ゆっくりで一周巻き」「ゆっくりゆっくりで1周巻き」(普通と遅め)

○クランクベイトでは当たりがあっても合わせない。そのまま巻く。

○第3ポンドでは茶系によく反応した。水がクリアな時は茶系がいいのだろうか。底の色も茶色っぽい。「底の色と同じ色がよい」と安藤さんから教えてもらったことがある。